

放ち、還るカフェ



59FU 2022, カフェ・ギャラリー, 新潟県弥彦村

古民家を近隣でとれた自然素材でカフェに改修しました。カフェにつながる新設テラスのデッキと手すりには、防腐処理したアコヤ材という木材を用い、雪が落ちる可動式屋根も開発して、積雪地域の屋外でも長持ちするつくりとしました。店内には弥彦の自然から着想を得てつくられた照明やテキスタイル作品があり、越後平野が望めるテラスとともにゆったりと過ごせます。地元企業からの依頼で、アートプロジェクトに参画し、企業が所有する弥彦山の麓に広がる敷地での、持続可能な施設群を提案し、現在 59FU としてカフェまでをオープンしています。アートプロジェクトの実験の場、地域振興の場として、様々なメディアに取り上げられています。

受賞／日本空間デザイン賞 2023 入選, GOOD DESIGN AWARD 2023
掲載／新建築 2024 年 4 月号, 住まい net 新潟 vol.35
協働／柳田庸子・中本千晴, 上條慎司・酒井真樹・岡田英樹・坂本憲太郎, 岡安泉・森山茜
写真／阿野太一

不思議な景色の明るい家



千駄木の住宅 2019, 新築住宅, 東京都文京区

山登り好きのご家族は、モノを吊るす生活と素朴な家を望みました。そこで外壁に工夫をして、防火規制の厳しい都心に木材あふれる暮らしを実現しました。トップライトは家全体が淡い明るさで満たされるようにシミュレーションを重ねました。キッチンなどは地元の職人たちと連携し、細かなご要望にお応えしています。千駄木は道が細く、長い木材を搬入できないため、RC 造に木造2階がのったような家としました。敷地は変形地で、道路とずれた向きに建つことで、敷地を有効利用し、窓からは不思議な景色がダイナミックに体感できます。そんな非日常を、生活の楽しみとして大事に織り込んでいきました。

掲載／住宅特集 2019 年 11 月号
協働／S 設計室
構造／坂田涼太郎構造設計事務所
写真／永井杏奈

海とバスの遊び



かどの台別邸 2024, リノベーション・別荘, 静岡県伊東市

伊豆半島の温泉地の高台に建つ LDK 住宅を、リビングバスの置かれた色彩豊かな別荘にリノベーションしました。大きな庭もあって予算が限られていたため、部分的な解体と造作で、家のどこにいても庭や海、太陽などスケールの大きなもので感じられる別荘らしさを目指しました。方角によって壁を僅かに異なる色で塗装しており、太陽の変化をふと感じます。また「リビングにバスタブ」「バスルームにダイニングテーブル」があるように感じることで、空間を広く錯覚します。小さな抛り所はカーテンを広げることで生まれ、そのとき、たくさんの色や模様を満たされます。

構造アドバイス／大川誠治
写真／大島アトリエ

ほか



米洲日本橋店, 2016, 東京都中央区 *AS



濱江段多目的センター, 2017, 台湾台北市 *AS



N スタジオ, 2013, 東京都渋谷区 *AS



支えられた記憶, 2008, 修了制作

ABOUT

社名	大島アトリエ (大島彩一級建築士事務所)
所在地	〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-8-15 1-8-15 ビル 601
アクセス	日比谷線・浅草線人形町駅より徒歩 3 分 半蔵門線水天宮前駅より徒歩 10 分
分室	軽井沢町・下田市・渋谷区
登録	一級建築士事務所東京都知事登録 65433 号 東京建築士会加入



大島彩／一級建築士
aya oshima

1982	カナダバンクーバー生まれ東京都育ち
2000	お茶の水女子大学附属高等学校卒業
2005	東京藝術大学美術学部建築科卒業
2006-2007	リヒテンシュタイン国立大学留学
2008	全国修士設計展グランプリ
2008	東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 益子義弘研究室修士課程修了
2009-2017	青木淳建築計画事務所 *AS
2018	大島アトリエ設立
2020-	関東学院大学非常勤講師
2021-	東京都市大学非常勤講師
2025-	東京電機大学非常勤講師

WORKFLOW

01	お問い合わせ
02	ご面談
03	敷地調査
04	初回提案
05	基本設計
06	実施設計
07	施工監理
08	竣工引渡・メンテナンス

メールアドレス (oshima@oshimaatelier.com) またはホームページのフォームよりお問い合わせください。敷地が決まっていない、敷地が遠方、まずは相談だけでもしてみたい、という方もお気軽にお声がけください。

弊社もしくはご希望の場所にて、ご面談させていただきます。ご要望やイメージ、予算や工期などをお聞かせください。週末の面談もお引き受けしております。敷地が決まっている場合は資料をお持ち下さい。敷地の現場調査をさせていただきます。リノベーションの場合は建物調査となります。

敷地の現場調査をさせていただきます。リノベーションの場合は建物調査となります。

敷地調査から 3-4 週のお時間をいただきます。図面や模型、CG 等をご用意します。今後も一緒に進めていけるかご相談します。設計料は新築住宅で工事費の 10-15% を目安としております。契約が難しい場合には、ここまでのご相談料として 10 万円〜いただく場合がございます。

敷地条件や関連法規など確認の上、建物の基本的な形を決めるプロセスに入ります。月 1 回のペースで打合せを重ねます。打合せ毎に、修正した図面や模型、イメージ図等をご用意します。それらにご意見を伺い、反映させることの繰り返しで、納得のゆく形へ設計を練り込みます。大まかなイメージと間取りが決定した段階で、基本設計が完了します。

基本設計を元に、インテリアや細かな点をご提案し、打合せしながら一緒に決定し、さらに設計を進めます。工事費見積り及び工事発注用の図面を作成します。建築確認申請のため官庁や機関との協議も行います。施工会社の紹介、見積りの精査、予算に見合った金額調整と設計修正、施工会社の最終選定のお手伝いをいたします。

設計内容と金額にご納得いただけた場合、施工会社と工事契約を交わしていただきます。工事中はおおよそ週 1 回のペースで現場へ向向き、設計図通りに施工できているかのチェックや、現場での変更に対して適切な作り方を施工者と一緒に考え作成した施工図のチェックを行います。最終的な仕上げ素材や色の検討も行い、確認いただきます。

完了検査、施主検査を終えて、竣工引渡となります。原則、施工会社とともに 1 年点検をいたします。その後も、施工会社の定期点検には都度立ち会います。将来的な修繕および増改築、家具製作などのご相談も承ります。



たくさんの模型をつくり、



お打合せで設計案を決めていきます。



職人と細かい寸法や作り方で考え、



サンプルをもとに色や素材を検討します。

大島アトリエ



www.oshimaatelier.com

「おどろきと 表裏一体な よりどころを」

物事を違う角度から見ることは、日常を変えることに繋がります。私は、対話や観察を通し、何かいつもの状態を反転させよう、何か再解釈できるものはないか、と探しながら設計しています。そうして驚きと新鮮さをちりばめた建築が、次第に生活に定着することを考えています。定着するには、驚きが大きければ大きいほど、人が寄りつき安心できる設えが不可欠です。そのため、殊のほか、抛り所となる空間をつくることには執着しています。

大島アトリエは、東京を拠点に活動する設計事務所です。住宅、集合住宅、店舗、オフィス、ホテルの設計のほか、作家とのコラボレーションも手がけています。